```
S5
                  1 PN=JP 9040548
   ? T S5/7
    5/7/1
   DIALOG(R) File 351: Derwent WPI
   (c) 2005 Thomson Derwent. All rts. reserv.
   011132895
   WPI Acc No: 1997-110819/199711
     Pharmaceutical or dermatological compsns for topical application -
     contain volatile oil, phenylated silicone oil and active ingredient(s),
     e.g. antibacterials, antiinflammatories, cell proliferation modulators,
     etc.
   Patent Assignee: L'OREAL SA (OREA )
   Inventor: AGOSTINI I; ALLEC J; GROLLIER J; GROLLIER J F
  Number of Countries: 009 Number of Patents: 011
  Patent Family:
                               Applicat No
  Patent No
                 Kind
                       Date
                                              Kind
                                                     Date
                                                              Week
                    19970129 EP 96401491
  EP 755675
                                                             199711 B
                                                   19960705
                 A1
                                               Α
                    19970131 FR 959252
                                                   19950728
                                                             199714
  FR 2737118
                 A1
                     19970213 AU 9659430
                                                             199715
  AU 9659430
                 Α
                                               Α
                                                   19960710
—→ JP 9040548
                     19970210 JP 96198146
                                                             199716
                 Α
                                                   19960726
   CA 2182226
                     19970129 CA 2182226
                                                             199722
                 Α
                                                   19960726
                                               Α
  AU 679663
                     19970703 AU 9659430
                                                   19960710
                                                             199735
                 В
                     19970917 EP 96401491
                                                   19960705
                                                             199742
  EP 755675
                 B1
                                               Α
                     19971023 DE 600065
  DE 69600065
                 E
                                                   19960705
                                                             199748
                               EP 96401491
                                               Α
                                                   19960705
  ES 2109832
                     19980116 EP 96401491
                                                   19960705
                                                             199810
                 T3
  JP 2965510
                     19991018 JP 96198146
                 B2
                                               Α
                                                   19960726
                                                             199949
→> US 6136332
                     20001024 US 96688027
                 Α
                                                   19960729
                                               A
                                                             200055
  Priority Applications (No Type Date): FR 959252 A 19950728
  Cited Patents: 2.Jnl.Ref; EP 150914; EP 197485; EP 336902; EP 602905; JP
     5201851; JP 61065808; JP 5201851
  Patent Details:
  Patent No Kind Lan Pg
                                       Filing Notes
                           Main IPC
                A1 F 11 A61K-007/48
  EP 755675
     Designated States (Regional): DE ES FR GB IT
                      18 A61K-009/06
  FR 2737118
                A1
  AU 9659430
                         A61K-031/695
                Α
                A 9 A61K-009/00
  JP 9040548
                         A61K-007/025
  CA 2182226
                A F
                         A61K-031/695
  AU 679663
                                       Previous Publ. patent AU 9659430
  EP 755675
                B1 F
                      15 A61K-007/48
     Designated States (Regional): DE ES FR GB IT
  DE 69600065
                         A61K-007/48
                                       Based on patent EP 755675
  ES 2109832
                         A61K-007/48
                                       Based on patent EP 755675
                T3
                                       Previous Publ. patent JP 9040548
  JP 2965510
                B2
                      10 A61K-009/00
  US 6136332
                         A61K-009/10
                Α
  Abstract (Basic): EP 755675 A
          Dermatological or pharmaceutical compositions for topical
      application comprising: (a) a volatile oil, (b) a phenylated silicone
      oil, and (c) a dermatologically or pharmaceutically active agent, are
      new. The active material may be an antiviral, an antibacterial, an
      antifungal, an antiinflammatory, a neuro-mediator antagonist, a cell
      differentiation or modulation inhibitor, a pigmentation or
      keratinisation regulator, an antihistamine or a cicatrising agent.
          ADVANTAGE - The new compositions give an even coating that does not
      migrate to untreated areas and does not easily rub off.
          Dwg.0/0
```

? S PN=JP 9040548

Abstract (Equivalent): EP 755675 B

Dermatological or pharmaceutical composition for topical application comprising a volatile oil, a phenyl-containing silicone oil and at least one dermatologically and/or pharmaceutically active agent. Derwent Class: A96; B01; B04; B05; C03; D21

International Patent Class (Main): A61K-007/025; A61K-007/48; A61K-009/00; A61K-009/06; A61K-009/10; A61K-031/695

International Patent Class (Additional): A61K-007/00; A61K-007/027; A61K-007/40; A61K-031/00; A61K-045/00; A61K-047/24; A61K-047/30; A61K-047/34; A61K-047/44

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-40548

(43)公開日 平成9年(1997)2月10日

(51) Int.Cl. ⁶ A 6 1 K 9/00 7/00	識別記号	FI A61K 9/00 V 7/00 J		
	審査請	D 求 有 請求項の数30 OL (全 9 頁		
(21)出願番号	特顧平8-198146	(71)出願人 391023932		
(22)出顧日	平成8年(1996)7月26日	LOREAL フランス国パリ,リュ	ロワイヤル 14	
(31)優先権主張番号 (32)優先日 (33)優先権主張国	1995年7月28日			
		(72)発明者 ジョジアン・アレ フランス・06600・アンデ ン・ドゥ・ラ・シュケッ ェルジュール・ドゥ・ヴ ス	テ・300・レ・ヴ	
		(74)代理人 弁理士 志賀 正武 ((外 2 名) 最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 皮膚科もしくは製薬用組成物及びその製法並びにその使用

(57)【要約】

【課題】 皮膚及び粘膜の病変の治療に用いることができ、変質もしくは移動の傾向を改善した皮膚科用もしくは製薬用の組成物を提供する。

【解決手段】 揮発性オイル、フェニル含有シリコーン オイル及び少なくとも一の皮膚科用及び/または製薬用 の活性剤を含む組成物を調製する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 揮発性オイル、フェニル含有シリコーン オイル及び少なくとも一の皮膚科用及び/または製薬用 活性剤を含む、局所への適用のための皮膚科用もしくは 製薬用組成物。

【請求項2】 揮発性オイルが、環状もしくは直鎖状シリコーンオイルもしくは炭化水素オイルの単独もしくは混合物から選択される請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 揮発性オイルが、シクロテトラジメチルシロキサン、シクロペンタジメチルシロキサン、シクロペキサジメチルシロキサン、メチルペキシルジメチルシ

ロキサン、イソパラフィン及びこれらの混合物より選択される請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】 揮発性オイルが、組成物全重量に対して 8~80重量%、好ましくは30~60重量%の割合で 存在する請求項1から3のいずれか一項に記載の組成 物。

【請求項5】 フェニル含有シリコーンオイルが、化学式(I)に表されるオイル及びこれらの混合物より選択される請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。 【化1】

$$CH_{3} - Si - O - Si - O - Si - O - Si - CH_{3}$$

$$CH_{3} - Si - O - Si - CH_{3}$$

$$CH_{3} - Si - CH_{3}$$

$$CH_{3} - Si - CH_{3}$$

$$CH_{3} - CH_{3}$$

$$CH_{3} - CH_{3}$$

上記式中、

- ・Rは $C_1 C_{30}$ アルキル基、アリール基もしくはアラルキル基、
- ·nは、0から100の整数、
- ・mは、0から100の整数であって、合計m+nが、1から100の間であることを条件とする。

【請求項6】 フェニル含有シリコーンオイルは、組成物全重量に対して1~35重量%、好ましくは20~30重量%の割合で存在する請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】 活性剤が、微生物に対して活性である薬剤、特に、抗ウィルス性、抗細菌性もしくは抗真菌性の活性をもつもの;抗炎症性もしくは免疫調節活性をもつ薬剤;神経メディエイタの拮抗剤である、もしくは、神経メディエイタの放出を調節する薬剤;細胞分化及び/または細胞増殖及び/または色素沈着を調節する、及び/または角質形成を調整する薬剤;口唇炎の治療及び/または予防において活性である薬剤;抗ヒスタミン剤;もしくは治療剤から選択される請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】 抗ウィルス活性をもつ活性剤が、乳頭腫ウィルス属に対して活性である薬剤;1型及び/または2型の単純ヘルペスウィルス;プリン誘導体;ピリミジン誘導体;グアニジン誘導体;ピロリン酸塩類似体及びその塩;免疫反応を調節する及び/または刺激し、ウィルス増殖に影響する、ペプチドもしくはタンパク質もしくは糖タンパク質;金属塩、特に銅、金、銀及び/またはリチウム;もしくはアンチセンスオリゴヌクレオチドより選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項9】 抗細菌活性をもつ活性剤が、フシダニン科のステロイド構造の薬剤; 抗生物質、例えばマクロラ

イド系、シナジスチン系、リンコスアミド系、アミノシド系、リファマイシン系、ポリミキシン系もしくはテトラサイクリン系の抗生物質;もしくはキノロンの科の抗細菌剤より選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項10】 抗菌活性をもつ活性剤が、オクトピロックス、シクロピロックス、アモロルフィン、イミダゾール、アンホテリシンB、トルナフテート、グリセオフルビン、テレビナフィン及びナフチフィンより選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項11】 抗炎症活性をもつ薬剤が、ステロイド構造の薬剤、例えば、プロピオン酸クロベタゾール、吉草酸ベタメタゾン、ヒドロコルチゾンもしくはヒドロコルチゾンアセポナート;非ステロイド構造の薬剤、例えばピロキシカム、イブプロフェン、エノキソロンもしくはブフェキサマック;もしくはα-ビサボロールより選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項12】 神経メディエイタの拮抗剤である、もしくは神経メディエイタの放出を調節する薬剤が、止痒性剤、例えばクロタミトン;神経ペプチド、特にP物質の放出の抑制因子、例えばNK1の抑制因子;カプサイシン及びその類似体;及びリチウム塩より選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項13】 微生物に対して活性である薬剤、抗炎症活性をもつ薬剤もしくは神経メディエイタの拮抗剤である、もしくは神経メディエイタの放出を調節する薬剤が、組成物の0.01~20重量%の割合で存在する請求項7から12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項14】 細胞分化及び/または細胞増殖及び/ または色素沈着を調節する薬剤が、核受容体、例えばス テロイド受容体、甲状腺受容体、レチノイドの受容体も しくはビタミンDの受容体により作用する物質;細胞代 謝に作用する物質、脱色剤もしくは再着色剤;もしくは光感作剤より選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項15】 調節剤が、組成物の0.001~10 重量%の割合で存在する請求項7から14のいずれか一 項に記載の組成物。

【請求項16】 角質形成を調整する薬剤が、ヒドロキシ酸より選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項17】 角質形成を調整する薬剤が、組成物の 0.1~30重量%の割合で存在する請求項7から16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項18】 治療剤が、ビタミンA、EもしくはFもしくはこれらのエステル、成長因子もしくはアラントインより選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項19】 抗ヒスタミン剤が、プロメタジン、メフェニドラミウム、トリプロリジン、シンナリジン及びジフェニルヒドラミンより選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項20】 治療剤もしくは抗ヒスタミン剤が、組成物の0.01~10重量%の割合で存在する請求項7、18及び19のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項21】 口唇炎の治療及び/または予防において活性な薬剤が、例えば α -アセチルマンデル酸等のマンデル酸の誘導体より選択される請求項7に記載の組成物。

【請求項22】 口唇炎の治療及び/または予防において活性な薬剤が、組成物の0.1~10重量%の割合で存在する請求項7または21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項23】 局所用麻酔剤、消毒剤、湿潤剤及び/または柔軟剤、及び/または化学的もしくは無機サンスクリーン剤より選択される、少なくとも一の追加的活性剤を更に含む、請求項1から22のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項24】 抗菌活性剤及び化学的サンスクリーン 剤及び/または、特に酸化チタン等の無機サンスクリーン剤の混合物を含む請求項23に記載の組成物。

【請求項25】 活性剤の、組成物との溶解性もしくは 融和性を促進する及び/または前記活性剤の皮膚もしく は粘膜への浸透を促進させる薬剤を更に含む、請求項1 から24のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項26】 皮膚及び粘膜の手入れ用もしくは治療用の製品として使用することができる、液体もしくは流動体で、油性もしくはゲル化した組成物、柔軟なペースト、もしくは例えばスティックのように硬質で成型したペーストの形態で与えられる、請求項1から25のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項27】 第一に、使用可能なワックスを含む、 組成物の様々な成分の少なくとも一部を含むようにプレ ミックスを調製し;このプレミックスを攪拌しながら溶 融する温度まで加熱し;攪拌を続けながら残りの成分を 室温程度の適切な温度にて加え;得られた混合物が室温より高い温度であった場合には、これを室温まで冷却する期間の少なくとも一部の間攪拌する請求項1から26のいずれか一項に記載の組成物の製法であって、攪拌操作が、少なくとも部分的には押し出し成型機中で行われることを特徴とする製法。

【請求項28】 加熱及び混合、更に冷却操作の全てが、一つもしくは次々に並べられた多数の押し出し成型機の中で行われる請求項27に記載の製法。

【請求項29】 加熱、混合更に冷却操作が、単一の双スクリュー押し出し成型機中で行われる請求項27に記載の製法。

【請求項30】 少なくとも一の皮膚科用及び/または 製薬用の活性剤を含む、局所への適用のための皮膚科用 もしくは製薬用組成物中での、前記組成物の変質及び/ または移動を改善することを目的とする、揮発性オイル 及びフェニル含有シリコーンオイルの混合物の使用。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、皮膚もしくは粘膜、特に口唇に、予防及び/または治療のために適用することのできる、局所への適用のための皮膚用もしくは製薬用の組成物に関する。

[0002]

【従来の技術】皮膚もしくは粘膜、特に口唇の病変が、特にウィルス、細菌もしくは真菌タイプの微生物による感染、免疫依存性(immunodependent)もしくは非免疫依存性(non-immunodependent)炎症現象、神経性タイプの現象、また、増殖、分化もしくは色素沈着障害等の機能異常(disfunctionings)により、及び/または寒さ、UV光線、火傷、ある種の薬剤の経口摂取、アレルゲンもしくは刺激、あるいは昆虫の刺創等の外的要因により発生することは既知である。

【0003】このような病変の予防及び/または、これらの病変が現れた後に患部並びに隣接の部位の治療を行うことのできる様々な皮膚科用もしくは製薬用組成物が知られている。これらの組成物は、特に、軟膏、クリームもしくはゲル等のペースト状製品の形態、スティックの形態あるいはまた局所に適用するローションの形態で与えることができる。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、これらの組成物は、皮膚に塗布されると変質するという欠点がある。これは、これらの組成物が、少なくとも部分的に堆積する一方で、特にガラス、衣服もしくは皮膚等のこれら組成物が接触し得る基質に跡を残すことを意味することと理解される。第一の影響は、前記皮膚科用もしくは製薬用組成物の中庸性の存続及び治療する皮膚の部位への接触時間の制限である。第二の影響としては、特に、前記基質に起こりうる染色効果と、第三者について

考慮すれば、その基質への好ましからぬ堆積である。別の影響としては、基質の、治療を受ける人の皮膚上に存在する活性剤及び/または感染性物質による薬剤汚染の危険性である。

【0005】したがって、変質の危険性を減少させるためにあらゆる基質との接触を避けると共に、定期的に皮膚もしくは粘膜に組成物の塗布をし直すことが必要である。

【0006】従来の組成物の別の欠点は、移動しがちなことであり、いわば、実際に治療しようとする部位の隣接の部位、特に皮膚の皺の中へ延び、活性剤及び/または感染性物質を広める傾向があることである。

【0007】本発明の目的は、これらの欠点を克服もしくは抑制することであり、これによって非常に優れた保持力を持ち、僅かに変質するのみまたは全く変質せず、僅かに移動するのみまたは、実際に全く移動しないフィルムを得ることが可能な組成物が与えられる。

[0008]

【課題を解決するための手段及び発明の実施の形態】したがって、本発明の主題は、揮発性オイル、フェニル含有シリコーンオイル及び少なくとも一の皮膚科用及び/または製薬用の活性剤を含む、局所への適用のための皮膚科用もしくは製薬用組成物である。

【0009】本発明の別の主題は、第一に、使用可能なワックスを含む、組成物の様々な成分の少なくとも一部を含むようにプレミックスを調製し;このプレミックスを撹拌しながら溶融する温度まで加熱し;撹拌を続けながら残りの成分を室温程度の適切な温度にて加え;得られた混合物が室温より高い温度であった場合には、これを室温まで冷却する期間の少なくとも一部の間撹拌する前記組成物の製法であって、撹拌操作が、少なくとも部分的には押し出し成型機中で行われることを特徴とする製法である。

【0010】本発明の更に別の主題は、前記組成物の変質及び/または移動を改善することを目的とする、局所への適用のための、少なくとも一の皮膚科用及び/または製薬用活性剤を含む皮膚科用もしくは製薬用組成物における、揮発性オイル及びフェニル含有シリコーンオイルの混合物の使用である。

【0011】本発明の組成物によれば、容易に塗布することができ、容易に、また均一に延びる均質なフィルムを得ることが可能である。得られるフィルムはまた、軽い肌触りを有し、一日中つけていても快適なものである。この組成物では、治療しようとする部位の活性剤との接触時間を長くすることができ、ある種の薬剤の浸透を促進することができる。さらにまた、治療しようとする部位における本発明の組成物の存在により、湿潤化(humidification)の抑制を維持することができ、このことは考えられる病変の早期の治療に好ましい。本発明の組成物は、さらに、水相中で不安定な活性剤の製剤に有利に用いることができる。

【0012】したがって、本発明の組成物は、環状もし くは直鎖状のシリコーンオイルもしくは炭化水素オイル から単独もしくは混合物として選択することのできる揮 発性オイルを含む。揮発性オイルとは、本発明の記載に おいては、皮膚と接触して蒸発するようなあらゆるオイ ルを意味するものと理解される。オイルとしては、その 発火点が、これらのオイルを製剤に使用できるほど充分 に高く、望ましい消失効果が得られるほど充分に低いも のを使用することが望ましい。発火点が約40~100 ℃のオイルを使用することが好ましい。揮発性のシリコ ーンオイルとしては、シクロテトラジメチルシロキサ ン、シクロペンタジメチルシロキサン、シクロヘキサジ メチルシロキサン及びメチルヘキシルジメチルシロキサ ンを挙げることができる。揮発性の炭化水素オイルとし ては、イソパラフィンを挙げることができる。本発明の 組成物は、組成物全重量に対して8~80重量%、好ま しくは30~60重量%の揮発性オイルを含むことがで きる。

【0013】本発明の組成物はまた、フェニル含有シリコーンオイルを含む。このオイルは、ポリエフェニルメチルシロキサンもしくはフェニルトリメチコーンもしくは様々なフェニル含有シリコーンオイルの混合物であってよく、特に、下記の化学式(I)に相当するものであるとよい。

[0014]

【化2】

$$CH_{3} - \stackrel{R}{S}i - O - \stackrel{S}{S}i - O - \stackrel{S}{S}i - CH_{3}$$

$$CH_{3} - \stackrel{S}{S}i - O - \stackrel{S}{S}i - CH_{3}$$

$$CH_{3} - \stackrel{S}{S}i - CH_{3}$$

$$CH_{3} - \stackrel{S}{C}H_{3}$$

$$CH_{3} - \stackrel{S}{C}H_{3}$$

$$CH_{3} - \stackrel{S}{C}H_{3}$$

$$CH_{3} - \stackrel{S}{C}H_{3}$$

【0015】上記式中、

・Rは C_1 - C_{30} アルキル基、アリール基もしくはアラルキル基、

・nは、0から100の整数、

・mは、0から100の整数であって、合計m+nが、1から100の間であることを条件とする。Rは、メチ

ル基、エチル基、プロピル基、イソプロピル基、デシル基、ドデシル基もしくはオクタデシル基あるいはまたフェニル基、トリル基、ベンジル基もしくはフェネチル基であることが好ましい。

【0016】これらのフェニル含有オイルの中では、Wacker社のオイル、Belsil PDM1000、Dow Corning社のオイル、DC556もしくはSF558、Goldschmidt社のオイル、Abil AV8853もしくはRhone-Poulenc社のオイル、Silbioneを挙げることができる。

【0017】脂肪相は、前記のオイルに加えて、当該分 野において通常用いられる脂肪物質を含むことができ る。これらの脂肪物質としては、シリコーン脂肪物質、 例えばシリコーンオイル、ゴム及びワックス、及び非一 シリコーン脂肪物質、例えば植物、鉱物、動物及び/ま たは合成のオイルもしくはワックス、及びこれらの混合 物を挙げることができる。活性剤の浸透及び組成物の "スクリーン"効果を促進することのできる、遮断もし くはフィルム形成脂肪物質を使用することが好ましい。 【0018】シリコーン脂肪物質の中では、ポリジメチ ルシロキサン(PDMS)及びアルキルジメチコーン並 びに、任意にフッ素化された脂肪族及び/または芳香族 により、もしくはヒドロキシル、チオール及び/または アミン類等の官能基により修飾されたシリコーンを挙げ ることができる。非ーシリコーン脂肪物質の中では、流 動パラフィン、流動ワセリン、ペルヒドロスクアレン、 アララオイル (arara oil)、スィートアーモンドオイ ル、カロフィラムオイル (calophyllum oil)、パーム 油、ひまし油、アボカドオイル、ホホバオイル、オリー ブオイルもしくはシリアルジャームオイル (cereal ger moil);脂肪酸のエステル;アルコール;アセチルグ リセリド ; アルコールもしくはポリアルコールのオクタ ン酸塩、デカン酸塩もしくはリシノール酸塩;脂肪酸の トリグリセリド;グリセリド;25℃で固体である水素 化オイル;ラノリン;25℃で固体である脂肪エステ ル;ミツロウ;カルナウバワックス、カンデリラワック ス、オーリカリーワックス、木口ウもしくはサトウキビ ワックスもしくはコルクファイバーワックス (cork fib re wax) 等の植物ワックス;例えばパラフィンオイル、 褐炭ワックスもしくは微晶ロウもしくはオゾケライトな どの鉱物ワックス;もしくはポリエチレンワックス及び

【0019】当業者によれば、これらの脂肪物質を、特に、好ましい特性、例えば稠度及び肌触り等をもつ組成物を調製するために選択することができる。

フィッシャー・トロプシュ合成により得られるワックス

を含む合成ワックスを挙げることができる。

【0020】特に、本発明の組成物は、少なくとも一のワックスを含むことができ、これによってこの組成物がスティックの形態で与えられた際の機械的強度が与えられる。この組成物が、従来の方法により柔軟なペースト

もしくは成型製品の形態で与えられる場合、本発明の組成物は少量、例えば約5~12重量%のワックスを含む。この組成物が押し出し成型によって得られる場合、この組成物はより多量のワックス、特に、55℃より高い融点を持つワックスを好ましくは12~60重量%を含むことができる。一般的に、本組成物は、少なくとも一の炭化水素及び/またはシリコーンワックスをり、5~30重量%及び、炭化水素ワックスを好ましくは10~20重量%及びシリコーンワックス0~10重量%を含むことができる。

【0021】本発明の組成物はまた、少なくとも一の活性剤を含み、このような活性剤の中では、微生物に対して活性である、特に抗ウィルス、抗菌もしくは抗真菌性活性を持つ薬剤;抗炎症もしくは、免疫調節活性を持つ薬剤;神経メディエイタのアンタゴニストであるか、神経メディエイタの放出を調節する薬剤;細胞分化及び/または細胞増殖及び/または色素沈着を調節する及び/またははん痕化を調整する薬剤;口唇炎の治療及び/または予防において活性である薬剤;抗ヒスタミン剤;もしくは治療薬を挙げることができる。

【0022】かなりの抗ウィルス活性をもつ薬剤の中では、静菌性及び/または殺菌性剤、特に、乳頭腫ウィルス族の族、例えばHPV1ウィルス及び/またはHPV2ウィルス等に対して活性である薬剤を挙げることができ;1型及び/または2型の単純ヘルペスウィルスに対して活性な薬剤もまた挙げることができる。したがって例としては下記のものを挙げることができる。

1) プリン誘導体、特にグアニンもしくはアデニン誘導体で、特に、例えば下記のように9位において置換されているようなもの。

・9-(2-ヒドロキシエトキシメチル)グアニン(またはAcyclovir)、その塩もしくはそのエステル、特に吉草酸アシクロビル、もしくは例えばバリンもしくはイソロイシン等のアミノ酸のエステル、もしくはアミノ酸の誘導体、例えばN-置換アミノメチル安息香酸エステル、例えば4-モルホリノ安息香酸エステルもしくは3-(もしくは4-)アミノメチル安息香酸エステル、

・9-[4-ヒドロキシ-3-(ヒドロキシメチル)ブチル]グアニン(またはPenciclovir)、その塩もしくはそのエステルもしくはジエステル、

 $\cdot 9-\beta-D-$ アラビノフラノシルアデニン(またはVidarabine)、その塩もしくはそのエステル、例えば2'-酢酸エステル、

・2-[2-(2-アミノ-9H-プリン-9-イル) エチル]-1, 3-プロパンジオールジアセタート(またはFamcyclovir)もしくはその塩。

【0023】2) ピリミジン誘導体、特に、ウラシルもしくはシトシン誘導体、例えば下記のように、1位において2'-デオキシリボフラノシル単位により置換さ

れているようなもの。

・アルキル-2'デオキシウリジン及び、特にビニル-2'-デオキシウリジン、5-エチル-2'-デオキシウリジン、ジン及び5-イソプロピル-2'-デオキシウリジン、

・5-ハロ-2'-デオキシウリジン及び、特に5-ヨード -2'-デオキシウリジン(またはI doxuridine)もしくはそのエステル、例えば、5'-エタン酸エステルもしくは5'-安息香酸エステル;5-トリフルオロメチル-2'-デオキシウリジン(またはTrifluridine);もしくは5-プロモビニル-2'-デオキシウリジン;

· 5-ヨード-2'-デオキシシチジン(または I bac i tabine)、

【0024】3) グアニジン誘導体、例えば4-モル ホリン-カルボキシイミドイルグアニジン(またはMo roxydine)もしくはその塩、

- 4) ピロホスファート類似体及びその類似体、例えば ホスホノホルミル酸(またはFoscarnet)、
- 5) 免疫反応を調節及び/または刺激し、ウィルス増殖に影響するペプチドもしくはタンパク質もしくは糖タンパク質、例えばチモペンチンもしくはインターフェロン-α、インターフェロン-βもしくはインターフェロン-γ等の合成ペンタペプチド、
- 6) 特に銅、金、銀及び/またはリチウム等の金属 塩、特に、乳酸リチウムもしくはコハク酸リチウム、
- 7) アンチセンスオリゴヌクレオチド、特にホスホナートもしくはホスホノロチオアート。

【0025】かなりの抗細菌活性をもつ薬剤の中では、一次性の微生物感染、例えばざ瘡もしくは幼児に見られる類周囲のインペチゴ、もしくはの二次性の微生物感染、例えば口唇ヘルペスの小水胞段階に起こる感染症の局所での治療における静菌性及び/または殺菌性剤を挙げることができる。したがって、例として下記のものを挙げることができる。

- 1) フシダニン科のステロイド構造の薬剤;例えば、フシジン酸及びその塩、
- 2) 抗生物質、例えば、
- ・マクロライド系抗生物質の科の、例えば、エリスロマイシン、
- ・シナジスチンの科の、例えば、バージニアマイシン、
- ・リンコスアミドの科の、例えば、クリンダマイシン、
- ・アミノシドの科の、例えば、ネオマイシン、ゲンタマイシンもしくはフラマイセチン、
- ・リファマイシンの科の、例えば、リファマイシン S V、
- ・ポリミキシンの科でありポリペプチドタイプの、例えば、ポリミキシンB、
- ・テトラサイクリンの科の、例えば、オキシテトラサイクリンもしくはミノサイクリン、
- 3) キノロンの科の抗生物質、例えば、シクロフロキ

サシン、エノキサシン、オフロキサシン、ペフロキサシン、ロソキサシン、オキソリニック酸、ナリジクス酸、 ナジフロキサシンもしくはフルメキン。

【0026】かなりの抗菌活性をもつ薬剤の中では、オクトピロクス及びシクロピロクス;アモロルフィン;イミダゾール、例えばエコナゾール、ミクロナゾール、オモコナゾール、イトラコナゾール、フルコナゾールもしくはケトコナゾール;アンフォテリシン B;トルナフタート;グリセオフルビン;タービナフィン;もしくはナフチフィンを挙げることができる。

【0027】抗ウィルス、抗細菌もしくは抗真菌活性をもつ薬剤は、組成物の0.01~20重量%の割合で存在することができる。

【0028】本発明の、かなりの抗炎症活性をもつ薬剤はまた、免疫調節活性を有することができる。ステロイド構造の薬剤の中では、例えば、プロピオン酸クロベタゾール、吉草酸ベタメタゾン、ヒドロコルチゾン、もしくはヒドロコルチゾンアセポナート、もしくは、ピロキシカム、イブプロフェン、エノキソロンもしくはブフェキサマックあるいはまた、α-ビサボロール等の非ステロイド構造の薬剤を挙げることができる。これらは、組成物の0.01~20重量%の割合で存在することができる。

【0029】神経メディエイタの拮抗剤である、もしくは神経メディエイタの放出を調節する薬剤の中では、止痒性剤、例えばクロタミトン;神経メディエイタ、特にP物質の放出の抑制剤、例えば、NK1の抑制剤;カプサイシン及びその類似体;及びリチウム塩を挙げることができる。これらは、組成物の0.01~20重量%の割合で存在することができる。

【〇〇3〇】細胞分化及び/または細胞増殖及び/また は色素沈着を調節する薬剤の中では、核受容体、甲状腺 受容体、レチノイドの受容体もしくはビタミンDの受容 体により作用する物質、特に、6-[3-(1-アダマン チル)-4-メトキシフェニル]-2-ナフチル酸、トレチ ノイン、イソトレチノイン、シス-9-レチン酸、カルシ トリオール、セカルシフェロールもしくはカルシポトリ オール、もしくは細胞代謝に作用する物質、例えばアン トラリンを挙げることができる。皮膚の色素沈着を調節 する薬剤の中では、着色剤、例えばヒドロキノン、コウ ジ酸もしくはコーヒー酸;再着色剤、例えばDHAもし くはメラニン前駆体;もしくは光感作剤、例えば8-メ トキシソラレンを挙げることができる。これらは、組成 物の0.001~10重量%の割合で存在することがで きる。角質形成を調整する薬剤の中では、ヒドロキシ 酸、例えば、乳酸、クエン酸もしくはグリコール酸、サ リチル酸もしくはその誘導体、あるいはまた2-ヒドロ キシ-5-オクタノイル安息香酸を挙げることができる。 これらは組成物の0.1~30重量%の割合で存在する ことができる。

【0031】口唇炎の治療及び/または予防において活性である薬剤としては、特に、気候により引き起こされた場合もしくは機械的または医原性起源の場合には、マンデル酸の誘導体、例えばα-アセチルマンデル酸を挙げることができる。これらは組成物の0.1~10重量%の割合で存在することができる。

【0032】治療剤の中では、例えば、ビタミンA、EもしくはFもしくはこれらのエステル、ある種のペプチド成長因子もしくはアラントインを挙げることができる。これらは組成物の0.01~10重量%の割合で存在することができる。これらにより、寒さによる、もしくは口唇ヘルペスの最終段階において唇に存在する痂皮に関連するひび割れもしくは出血の予防、制限もしくは治療することが可能である。

【0033】抗ヒスタミン剤の中では、プロメタジン、メフェニドラミウム、トリプロリジン、シンナリジン及びジフェニルヒドラミンを挙げることができる。これらは、組成物の0.01~10重量%の割合で存在することができる。

【0034】治療しようとする疾患によって、病気の予防もしくは治療を促進する及び/またはこの病気に関連する症状を治療する多数の活性剤を混合すること、あるいはまた活性剤を更に加えることは賢明なことである。追加的な活性剤の中では、局所用麻酔剤、防腐剤、湿潤剤及び/または柔軟剤、及びスクリーン剤、特に化学サンスクリーン剤もしくは無機サンスクリーン剤を挙げることができる。

【0035】局所用麻酔剤の中では、リドカインもしくはテトラカインを挙げることができる。これらは組成物の0~10重量%の割合で存在することができ、これらの薬剤によれば、火傷/痛みの感覚を、ある種の感染に関する掻痒症と同様に抑制することが可能である。

【0036】防腐剤の中では、カルバニリドの族のバクテリオステティック消毒剤、例えば、トリクロカルバン;ジイセチオン酸ヘキサミジン、第四級アンモニア誘導体、例えば、塩化ベンズアルコニウム;もしくはグルコン酸クロルヘキシジンを挙げることができる。防腐剤は、元来細菌性である病気もしくは二次感染を発生し得る病気の補助的な治療用である;これらは組成物の0~20重量%の割合で存在することができる。

【0037】湿潤剤、潤滑剤もしくは柔軟剤の中では、ポリオール、リポアミノ酸、及びある種の脂肪物質、例えばスウィートアーモンドオイルもしくはカリテバターを挙げることができる。これらは組成物の0~20重量%の割合で存在することができる。

【0038】UVA及び/またはUVBを吸収する化学 サンスクリーン剤の中では、ケイ皮酸誘導体、例えば、 メトキシケイ皮酸オクチル、もしくは2-エチルヘキシ ル=2-シアノ-3, 3-ジフェニルアクリラート、もしく は3, 4-メチルベンジリデン-2-ボルナノン、もしく は4-tert-ブチル-4'-メトキシジベンゾイルメタンを 挙げることができる。サンスクリーン剤としては、スク リーン無機顔料、例えば、金属酸化物、特に酸化チタン で任意に被覆されたものを使用することができる。組成 物は、0~15重量%のサンスクリーン剤活性物質を含 むことができる。

【0039】したがって、本発明の望ましい実施態様は、抗ウィルス活性剤と、化学及び/または無機サンスクリーン剤、特に酸化チタンとの混合物を含む組成物からなる。

【0040】該組成物は、活性剤が、組成物の賦形剤との溶解性もしくは融和性を促進する及び/または前記活性剤の皮膚もしくは粘膜への浸透を促進させる薬剤を更に含むことができる。これらは、例えば、ミリスチン酸イソプロピル、オレイン酸、レシチン、もしくはある種のアルコールもしくはグリコールであってよい。

【〇〇41】該組成物はまた、顔料及び/または充填剤 を含むことのできる微粒子からなる相を含むことができ る。顔料は、該組成物中に0~10重量%の割合で存在 することができる。これらは白色でも有色でも、無機及 び/または有機のものであってよい。無機顔料の中で は、チタン、ジルコニウムもしくはセリウムの二酸化物 並びに、亜鉛、鉄もしくはクロムの酸化物もしくは鉄 (III) 青を挙げることができる。これらの顔料はま た、特に雲母粒子については、被覆されていても、被覆 剤を含んでもよい。酸化チタン、酸化鉄もしくは天然の 顔料で被覆された雲母、並びに着色された酸化チタン被 覆の雲母を挙げることができる。有機顔料の中では、カ ーボンブラック、及びバリウム、ストロンチウム、カル シウム及びアルミニウムのレーキを挙げることができ る。0~30重量%の割合で存在することのできる充填 剤は、無機もしくは合成のもので、ラメラもしくは非-ラメラのものであってよい。タルク、雲母、シリカ、カ オリン、ナイロン及びポリエチレンパウダー、テフロ ン、デンプン、酸化チタン-被覆の雲母、天然真珠の母 体、窒化ボロンもしくはミクロスフェア、例えばExp ancel (Nobel Industrie), Polytrap (D ow Corning) 及びシリコーン樹脂ミクロビーズ(例えば Toshiba社のTospearls)を挙げることができ る。

【0042】該組成物は、当該分野で通常使用されるあらゆる添加剤、例えば、抗酸化剤、香料、精油、保存料、ビタミン、染料、必須脂肪酸、スフィンゴセリル、界面活性剤もしくは脂溶性ポリマー、例えばポリアルキレン、ポリアクリラート及び脂肪物質に適合するシリコーンポリマーを含むことができる。これらの添加剤は、組成物の0~10重量%の割合で存在することができる。

【0043】むろん、当業者であれば全ての使用し得る 添加剤、いわば、追加的活性剤、可溶化を促進する薬 利、小粒子相の化合物及び添加剤、並びにこれらの組成物中の量を選択し、一方では本発明の組成物の有利な特性が、予想される添加によって僅かにでも損なわれることのないように、他方では、これらの添加を行っても前記組成物の物性がその局所からの使用に適合するようにできるであろう。

【0044】本発明の組成物は、皮膚及び粘膜の手入れもしくは治療のための製品の形態で与えることができる。これらは、特に、液体もしくは流動体であり、油性もしくはゲル化した組成物、柔軟なペーストもしくは堅くて成型したペースト、例えばスティックの形態で与えることができる。柔軟なペーストとは、粘度を測定することのできないスティックの固体構造と対照的に、粘度が測定できるペーストを意味すると理解される。前記の25℃での絶対粘度は、回転数60Hzの"MS-r4"回転子を備えたConravesTV 回転粘度計を用いて測定して、通常は3~35Pa・sである。

【0045】本発明の組成物は、特に、化粧品もしくは局所用製薬において、当業者にはよく知られた、従来用いられている方法と何ら変わることのない工程によって調製することができる。これらの工程は、ワックスが存在する場合は通常95~100℃に予め加熱しておいた組成物の様々な成分を混合し、これを冷却の前に、任意に望ましい形態に成型することからなる。該組成物の成分には、特に熱反応性であり得る場合には、低温で導入できるものがある。しかしながら、一般的にはこれらを低温で導入すると、存在するワックスの少なくとも部分的な結晶化及び/または固形化が必ず観察される。

【0046】この場合、特に、ワックスが組成物中に存在する場合には、これを少なくとも一の撹拌機/押し出し成型機を使用する方法を用いて調製することができる。この方法によれば、該組成物の、用い得るワックスを含む様々な成分の少なくとも一部を含むプレミックスをまず最初に調製することができ;このプレミックスを

撹拌しながらその融解する温度にまで加熱することができ;残りの成分を、撹拌を続けながら、ほぼ室温程度の適切な温度にて、一もしくはより多数の段階で加えることができ;得られた混合物が室温よりも高温であった場合に、少なくとも室温に冷却するまでの一部の期間、この混合物を撹拌することができる。撹拌操作は、少なくとも一部分は押し出し成型機の中で行われる。

【0047】揮発性オイルは、押し出し成型工程の最後に、室温にて加えられることが好ましい。しかしながら、揮発性オイルはまた、好ましくは約45℃以下の温度にて冷却段階の間に加えることもできる。

【0048】この工程により、均質で、すべての成分が適切に混合され、熱反応性であり得る成分を過剰に高い温度に加熱することなく柔軟なペーストの形態で存在する組成物を得ることが可能となる。加熱操作は、あらゆる既知の技術によって行うことができる。本発明の好ましい実施態様によれば、加熱及び撹拌、さらに冷却の操作は全て一もしくは互いに対して一列に並べられた一連の押し出し成型機中で行われるが、単一の双スクリュー押し出し成型機中で行われることが好ましい。さらにまた、撹拌機/押し出し成型機の外部型を適合させることによって、前期撹拌機/押し出し成型機の外部にて該組成物をライン上で実装することが可能である。押し出し成型を行うことのできる条件は、仏国特許出願FR94 -00756に記載されており、その内容は参照のため本願に組み込まれる。

【0049】本発明の別の主題は、前述の組成物を塗布することからなる皮膚及び/または粘膜の皮膚科用もしくは製薬用の治療の方法である。本発明を、下記の実施例において更に詳細に説明する。

【0050】

【実施例】

(実施例1)下記の組成を有するリップスティックを調製した。

脂肪相:		
・シクロペンタジメチルシロキサン	42g	
・ポリフェニルメチルシロキサン		
(Dow Corning社のDC556 Fluid)	25g	
・シリコーンワックス	10g	
・炭化水素ワックス(特にポリエチレン)	10g	
粉末相		
・二酸化チタン	5g	
・充填剤(ナイロン、パウダー、デンプン)	2g	
活性剤		
・イドクスウリジン	1g	
・3,4-メチルベンジリデンボルナノン	3g	
・4 -tert-ブチル-4 '-メトキシジベンゾイルメタン		2
Q*		

【0051】組成物を、揮発性オイル以外の脂肪相を9 5~100℃に加熱し、攪拌することによる、通常の方 法で調製した。二酸化チタン及び充填剤をこれに加えた。混合成分を、3000回転数/分の速度のモリッツ

タービン攪拌機(Moritz turbine mi xer)を用いて攪拌した。揮発性オイル及び活性剤を 油相のアリコートに予め分散させておき、成型の直前に 加えた。前記混合物は、適切な型で成型することができ る。

【0052】このように快適な手触りのリップスティッ クが得られたが、これは延びがよく、均一に塗布できる ものであった。このフィルムは長時間つけていても快適

> ・シクロペンタジメチルシロキサン 45g ・ポリフェニルメチルシロキサン (Dow Corning社のDC556 Fluid) 25g ・シリコーンワックス 10g ・ポリエチレンワックス 5g ・アルキルジメチコーン 5g ・二酸化チタン 5g ・充填剤(特にナイロンパウダー) 3g ・無水フシジン酸 2g

【0054】組成物を、揮発性オイル以外の脂肪相を9 5~100℃に加熱し、攪拌することによる、通常の方 法で調製した。二酸化チタン及び充填剤をこれに加え た。混合成分を、3000回転数/分の速度のモリッツ タービン攪拌機 (Moritz turbine mixer) を用いて攪拌 した。揮発性オイル及びフシジン酸を油相のアリコート に予め分散させておき、成型の直前に加えた。前記混合

lis)の予防において、再発の頻度及びヘルペス発疹の 持続期間を減少させることを目的とし、特に、毎日の塗 布を指示することができる。 【0053】(実施例2)下記の組成を有する柔軟なペ

であり、移動することのないものであった。このスティ

ックは再発性の口唇ヘルペス (recurrent herpus labia

ーストを調製した。

物は、適切な実装内に成型することができる。

【0055】このように快適な手触りの柔軟なペースト が得られたが、これは延びがよく、均一に塗布できるも のであった。このフィルムは長時間つけていても快適で あり、移動することのないものであった。この組成物 は、顔に影響を及ぼす細菌感染、例えば幼児に見られる 頬周囲のインペチゴの治療に用いることができる。

フロントページの続き						
(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	FI			技術表示箇所
A 6 1 K 7/00			A 6 1 K	7/00	F	
					G	
					K	
7/025				7/025		
7/027				7/027		
45/00	AAB			45/00	AAB	
	AAQ				AAQ	
	ABC				ABC	
	ABE				ABE	
	ADA				ADA	
	ADS				ADS	
	ADU				ADU	
	ADY				ADY	
	ADZ				ADZ	
	AEM				AEM	
47/24				47/24	N	

(72)発明者 イザベル・アゴスティン フランス・92290・シャトネー・マラブリ

ー・リュ・デ・プレ・オウ・48

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER: _

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.